

書あり 師あり 友ありて

部活動について

学校長 平田 高之



目にも鮮やかな新緑の季節となりました。今年の大連休も緊急事態宣言中ということで、不要不急の外出自粛の中で終わりましたが、医療関係者をはじめエッセンシャルワーカーの方々にとっては、連日お仕事だった方がおられるかもしれません。

本来なら、中学校においては、最後の総合体育大会やコンクールに向け、連休中は追い込みの時期となり練習試合等を行うのですが、4月30日から急遽活動休止となりました。今回の措置で感染拡大が収まり、今年こそは総合体育大会が実施できるよう、部活動再開後も、引き続き感染予防に取り組んでまいります。

さて、4月23日にクラブ集会があり、中学生生活の大きな楽しみである部活動の正式入部がありました。新1年生も含めて各部活動の入部状況は、以下の通りです。

| | | 3年 | 2年 | 1年 | 合計 |
|-----------|---|-----|-----|-----|-----|
| 陸上競技部 | | 20 | 21 | 15 | 56 |
| 野球部 | | 11 | 11 | 7 | 29 |
| ハンドボール部 | | 5 | 3 | 8 | 16 |
| サッカー部 | | 14 | 12 | 13 | 39 |
| ソフトテニス部 | | 11 | 14 | 13 | 38 |
| 卓球部 | 男 | 5 | 16 | 27 | 48 |
| | 女 | 6 | 6 | 8 | 20 |
| バスケットボール部 | 男 | 17 | 12 | 14 | 43 |
| | 女 | 12 | 15 | 13 | 40 |
| バレーボール部 | 男 | 5 | 3 | 8 | 16 |
| | 女 | 16 | 5 | 5 | 26 |
| 柔道部 | | 2 | 1 | 4 | 7 |
| 剣道部 | | 10 | 6 | 11 | 27 |
| 吹奏楽部 | | 17 | 17 | 17 | 51 |
| カルチャー部 | | 8 | 5 | 11 | 24 |
| 美術部 | | 10 | 14 | 13 | 37 |
| 合計 | | 169 | 161 | 187 | 517 |

本年度の入部率は92.8%と、例年に比べて高くなっています。これは新1年生の入部率が96.9%と高かったためです。とても嬉しいことですが、新1年生にとっては、時間的にも体力的にも4月よりハードな学校生活になり、年度当初の緊張感や心身の疲れもあらわれる時期ですので、ご家庭でもご留意頂けたらと思います。

部活動は「中学校学習指導要領」において、学校運営上の留意事項として、以下のよう
に示されています。

生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること

部活動は、生涯にわたってスポーツや文化等に親しむ態度を育て、体力の向上や健康の増進を図るだけでなく、学級や学年を離れて異年齢との交流、生徒同士や教員と生徒等の人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めたりする等、その教育的意義は大変高いと考えています。だからこそ、教育活動に位置付け、顧問をしている教員をはじめ、学校に関わることにより、気持ちのよいあいさつ、道具を大切にすること、時間を守る等の規則正しい生活、ルールやマナーを重んじるフェアプレーの精神等、生徒たちの人間形成を適切に支援し、学校の一体感や大蔵中生であるというプライドや愛校心を育てていきたいと思っています。

しかしながら、時代の進行と社会の変化に伴い、生徒や保護者の意識と価値観が多様化し、部活動を取り巻く環境も変化するとともに、部活動と学習の両立、熱中症やけがの防止等安全面の確保、技術指導ができる顧問の確保、中学校教員の働き方改革、少子化により設置できる部活動が減少し生徒のニーズに応えられない、部活動中の暴言・体罰等の課題も挙げられています。

本市においても、部活動のあり方を検討する委員会を立ち上げ、「中学校における運動部活動指導の手引き(5訂版)」が平成31年4月に出されました。それを受け、「大蔵中学校 部活動基本方針」を毎年作成し、ホームページにアップしています。

その中の「意義」「目的」「あり方」でも示していますが、中学校教育における部活動ですから、定められたきまりやルールに基づき活動することを、顧問はもちろん、外部指導者、保護者の皆さんにもご理解頂き、適正な運営を図っていかねばなりません。私立高校には学区がありません。学校経営として野球部を強化し甲子園出場を果たすために、他府県から中学生を勧誘し、県内の強豪私学の中には、登録メンバーの半数近くが県外選手で占められている学校もあります。しかし、本校は公立中学校であり、部活動の強化だけを目的に教育活動をしているではありません。生徒の心身の発達や人間形成を図り、その延長線上に結果が伴うものと考えています。

昨年度は開催できませんでしたが、本年度こそ総合体育大会・コンクールが開催できるよう、中学校体育連盟・吹奏楽連盟、市教育委員会等の関係者が連携し努力を続けていくところです。生徒の皆さんには、開催を信じて、今できることを続けてほしいと願っています。総体・コンクールまで残り2か月足らずとなりました。特に、3年生にとっては最後の大会となります！残り1日1日、最後の1時間1分1秒まで集中して練習に取り組み、ベストの状態で大会に臨めるよう、保護者の皆様が連携し生徒たちを支援していただくと考えておりますので、引き続きご理解ご協力の程よろしく願いいたします。